



アドビシステムズ株式会社
141-0032 品川区大崎 1-11-2
ゲートシティ大崎イーストタワー 19F

アドビシステムズ、Adobe Creative Suite 5.5 を発表

- **Flash、HTML5、ビデオ、モバイルアプリケーション、電子出版の分野で必要不可欠なイノベーションを実現**
- **新しい購入方法「サブスクリプション」を開始**
- **タブレットをクリエイティブワークフローに活用可能に**

【2011年4月11日】

アドビシステムズ株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：クレイグ ティーゲル、以下アドビシステムズ）は本日、最新の Adobe® Creative Suite® 5.5 および各構成製品（別途リリース参照）の提供が、2011年5月20日（金）から、アドビストアおよび全国のアドビ製品取り扱い企業を通じて開始されると発表しました。本日からアドビストアならびに主要販売代理店各社では、同製品の予約受け付けを開始いたします。また同時に、CS5.5 発売記念キャンペーンを実施いたします。詳細は <http://www.adobe.com/jp/joc/store/campaign/> をご参照ください。

モバイル通信環境における大きな変革により、コンテンツの配信や利用方法が著しく変化しています。Adobe Creative Suite 5.5 により、デザイナーやデベロッパーは急速に普及が進むスマートフォンやタブレット向けコンテンツの制作、配信、収益化が可能になります。Adobe Creative Suite 5.5 は印刷、ビデオ、モバイル、オンラインの各種メディアをカバーし、ほぼすべてのクリエイティブワークフローにおいて業界をリードするデザイン/開発ソフトウェアです。

アドビシステムズ社は今回のリリースから、Creative Suite 製品のリリース戦略を変更します。今後、Creative Suite 製品ファミリーの新製品は 24 カ月間隔で提供されます。一方、クリエイティブプロフェッショナルがコンテンツ制作において必要な最新技術を常に利用できるようにするため、その期間内に中間リリースを行います。

アドビシステムズは、新たにサブスクリプションによるお求めやすく柔軟な価格プランの提供を開始しました。これは、最新の Creative Suite 製品を入手して活用したいと考えるユーザーや、プロジェクト単位のニーズを持つユーザー、初めて Creative Suite 製品を使用したいと考えるユーザーにとって最適なプランです。新たに導入されたサブスクリプションにより、ユーザーは全額を前払いする必要なく本ソフトウェアの最新版を常に使用することができます。サブスクリプションの価格設定により Adobe Photoshop® などの主力製品については月額わずか 7,000 円、Adobe Design Premium CS5.5 は月額 12,000 円、Adobe Creative Suite 5.5 Master Collection については月額 19,000 円* で使用することができます。* 年間プランにおける月額料金となります。サブスクリプション価格の詳細は http://www.adobe.com/go/cs55subscription_jp をご覧ください。

アドビシステムズ社の社長兼 CEO（最高経営責任者）であるシャントヌ ナラヤン (Shantanu

Narayan) は、「Adobe Creative Suite 5.5 によって、主要なスマートフォンやタブレットをはじめとするマルチデバイス向けに新たなデジタル体験を提供できるようになります。出版社、メディア企業、広告主、企業は、コンテンツの開発と配信方法を大きく変えようとしています。アドビ システムズ社は今後、このようなお客様を、コンテンツ制作、管理、解析、配信における技術革新を通してサポートしていきます」と述べています。

最新の Creative Suite 製品ラインナップの代表となるのが Adobe Creative Suite 5.5 Master Collection であり、Photoshop、Illustrator®、InDesign®、Acrobat®、Flash® Builder™、Flash Catalyst®、Flash Professional、Dreamweaver®、Adobe Premiere® Pro、After Effects® など、アドビ システムズ社の業界標準のクリエイティブツールのすべてが単一パッケージに収められています。これらの製品は単体製品としても、Creative Suite の 5 つのエディションの 1 つまたは複数のコンポーネントとしても利用可能です。Creative Suite 5 のラインナップは、Adobe Creative Suite 5.5 Master Collection、Adobe Creative Suite 5.5 Design Premium、Adobe Creative Suite 5.5 Web Premium、Adobe Creative Suite 5.5 Production Premium、Adobe Creative Suite 5.5 Design Standard で構成されます。

Android、BlackBerry Playbook、iOS の各種デバイス向けモバイルアプリケーションの開発

Adobe Creative Suite 5.5 Web Premium (別途リリース参照) には、HTML5 と Adobe Flash の革新的なオーサリングツールが採用されていて、ほぼすべての端末向けに表現力豊かなコンテンツやアプリケーションの開発、提供、課金を行うことができます。Creative Suite 5.5 Web Premium によってデザイナーやデベロッパーは、Android™、BlackBerry® Tablet OS、iOS などのプラットフォームで動作するモバイルアプリケーションを開発でき、HTML5 を用いて様々な端末向けにブラウザベースの表現力豊かなコンテンツを作成できるようになるだけでなく、Flash Player を活用することで最高のビデオコンテンツ、ゲーム、リッチインターネットアプリケーション (RIA) の提供が可能となります。モバイルデバイスが販売面でも機能面でも爆発的に伸びる中、Creative Suite 5.5 はコンテンツやアプリケーションの開発や利用方法に大きな変化をもたらします。Adobe Flash Builder™ 4.5 (Creative Suite 5.5 Web Premium で利用可能) と Flex® 4.5 フレームワークの提供開始により、デベロッパーはスマートフォンやタブレットの各種デバイス (2011 年末までの推定出荷台数は 2 億台以上) 向けのモバイルアプリケーションを容易に開発、展開できます。

Flash 対応デバイスの普及

世界中の Flash Player 搭載スマートフォンの台数が今年末までに 1 億 3,100 万台以上に達すると予想される中、Adobe Flash は PC と各種デバイスのブラウザで表現力豊かなコンテンツを実現しています。Flash Player は現在、Android、HP webOS、Google TV に対応しています。BlackBerry Tablet OS、まもなく登場予定の Windows Phone の最新版、Samsung SmartTV など、近いうちに Flash Player をサポートする予定です。Adobe Flash Platform についての詳細は、<http://www.adobe.com/jp/flashplatform/> をご覧ください。

電子出版の最新技術を活用

Creative Suite 5.5 Design Premium (別途リリース参照) には、電子出版分野におけるアドビ システムズ社の革新的な技術が採用されています。アドビ システムズ社の電子出版向けソリューションは、すでに、世界屈指の雑誌 / 出版社の一部に採用されており、タブレット向けに極めて魅力的なデジタルコンテンツを生み出しています。Adobe InDesign CS5.5 と統合ツールセットの Folio Producer をあわせて使うことで、デザイナーはタブレット端末を対象としたページレイアウトにかつてない水準のインタラクティブ性を加えることができ

ます。ドキュメントにビデオ、オーディオ、パノラマ画像、360度のオブジェクト回転、画像のパン・ズーム、HTML/HTML5コンテンツの統合など、インタラクティブな要素を付加することが出来るようになります。その結果、これまでと比べて大幅に改善された魅力的な読書体験が得られます。Adobe Creative Suite 5.5 は Adobe Digital Publishing Suite と緊密に連携し、各種タブレット向けコンテンツの出版、販売、解析をサポートします。

タブレットデバイスをクリエイティブワークフローに

本日の発表により、アドビシステムズ社は、クリエイティブワークフローにタブレットデバイスを活用できるようにすることで、制作プロセスをデスクトップからタブレットデバイスにまで拡張できるようにしました。Adobe Photoshop の最新のスクリプトエンジンと Photoshop Touch ソフトウェア開発キット (SDK) によって、Android、BlackBerry Playbook、iOS の各種デバイスから Photoshop を操作するタブレットアプリケーションを開発できるようになります。アドビシステムズ社では、Adobe Color Lava (アドビカラーラバ) for Photoshop、Adobe Eazel (アドビイーゼル) for Photoshop、Adobe Nav (アドビナビ) for Photoshop (別途リリース参照) という3つの新しい iPad アプリケーションもあわせて発表しました。タブレットを用いた共通の Photoshop ワークフローを実行することでクリエイティブの可能性を広げることができます。^{*1}

強力なビデオとオーディオの新機能

ビデオとオーディオのプロフェッショナル向けには、Adobe Creative Suite 5.5 Production Premium (別途リリース参照) が、画期的なパフォーマンス、ワークフローの向上、クリエイティブにおけるイノベーション、最新の強力な編集機能を実現します。Production Premium は、世界各国の放送局、映画制作会社、映像制作のプロフェッショナルな顧客に次々と採用されています。今回の新機能はこうした状況を踏まえたものです。数々のイノベーションの一例としては、Adobe Premiere Pro CS5 で導入された強力な Adobe Mercury Playback Engine が挙げられます。Adobe Mercury Playback Engine により、グラフィックスプロセッシングユニット (GPU) のハードウェアサポートの拡大と、ラップトップへの対応や対応カードの拡大が実現し、ユーザーはより迅速にプロジェクトを立ち上げ、リアルタイムに編集結果を確認し、より高解像度でスムーズに作業を行うことができます。

クリエイティブワークフローの加速と最適化

Adobe Creative Suite 5.5 製品は、クリエイティブワークフローを高速化し、デザイナーが最高の作品を作り上げることに注力するのを支援するオンラインサービスのセット、Adobe CS Live^{*2} と連携します。CS Live オンラインサービスには、Adobe BrowserLab、Adobe CS Review、Acrobat.com、Adobe Story (日本語未対応)、Adobe SiteCatalyst[®] NetAverages[™] powered by Omniture が含まれます。

製品に関する詳細な情報は以下の URL をご参照ください。

<http://www.adobe.com/jp/products/creativesuite/mastercollection/>

アドビストア提供価格 (税込)

- Suite 製品のアップグレード版「C」のパッケージ版はアドビストアのみでの取り扱いになります。ライセンス版については販売代理店各社からご購入いただけます。
- すべての単体製品の特別提供版は、アドビストアのみでの取り扱いになります。
- アドビストアでは、各製品のダウンロード版も提供しています。ダウンロード版は本体

価格のみ（消費税抜きの価格）でご購入いただけます。

- 全ての Suite 製品には、一定期間無償でご利用いただける CS Live オンラインサービス（要登録）が含まれます。CS Live オンラインサービスには、ブラウザ互換テストのための BrowserLab、デザインワークのレビュープロセスが行える CS Review、使用デバイスやブラウザ、OS のシェアなどの最新動向を把握できる SiteCatalyst NetAverages などが含まれます。

ADOBE® CREATIVE SUITE® 5.5 MASTER COLLECTION(Windows® 版 / Macintosh® 版)

- 製品版 397,950 円 (本体価格 379,000 円)
- アップグレード版「S」 95,550 円 (本体価格 91,000 円)
- ※ Adobe Creative Suite 5 Master Collection からのアップグレード
- アップグレード版「A」 159,600 円 (本体価格 152,000 円)
- ※ Adobe Creative Suite 4 Master Collection からのアップグレード
- アップグレード版「B」 218,400 円 (本体価格 208,000 円)
- ※ Adobe Creative Suite 3 Master Collection からのアップグレード
- アップグレード版「C」 228,900 円 (本体価格 218,000 円)
- ※ Adobe Creative Suite 2 以降の Suite 製品からのアップグレード (Macromedia Studio 8、Production Studio 含む)
- 学生・教職員個人版 125,790 円 (本体価格 119,800 円)

構成製品：Adobe Acrobat X Pro 日本語版、Adobe Photoshop CS5 Extended 日本語版、Adobe InDesign CS5.5 日本語版、Adobe Illustrator CS5 日本語版、Adobe Contribute CS5 日本語版、Adobe Dreamweaver CS5.5 日本語版、Adobe Fireworks CS5 日本語版、Adobe Flash Builder 4.5 Premium、Adobe Flash Catalyst CS5.5 日本語版、Adobe Flash Professional CS5.5 日本語版、Adobe After Effects CS5.5 日本語版、Adobe Premiere Pro CS5.5 日本語版、Adobe Encore CS5 日本語版、Adobe OnLocation CS5 日本語版、Adobe Audition CS5.5 日本語版

Creative Suite のサブスクリプションには、年間プランと月々プランの 2 種類があります。サブスクリプションについての詳細は、http://www.adobe.com/go/cs55subscription_jp をご覧ください。

※¹ 無線インターネット接続が必要です。モバイルアプリケーションやタブレットアプリケーションは、個別にダウンロードを行い、追加条件に合意する必要があります。これらのアプリケーションは、すべての国または言語では提供されない可能性や、予告なしに変更または中止される可能性があります。追加の手数料やサブスクリプション料金が必要となる場合もあります。

※² CS Live オンラインサービスは期間限定で無償提供されます。詳細については、www.adobe.com/go/CSLive_jp をご覧ください。Adobe CS Live サービスを含む Adobe オンラインサービスは、13 歳以上のユーザーのみを対象としており、アドビシステムズ社のオンラインプライバシーポリシー (http://www.adobe.com/go/terms_jp) の追加条件に合意する必要があります。オンラインサービスは、すべての国または言語で提供されるものではなく、ユーザー登録が必要となる可能性や、予告なしに変更または中止される可能性があります。追加の手数料やサブスクリプション料金が必要となる場合もあります。

本プレスリリースは、実際の業績を大幅に異ならせる可能性のあるリスクと不確実性を内包したアドビ システムズ社の将来の製品計画に関連した将来的観測を含みます。これらおよびその他のリスクと不確実性についての解説に関しては、アドビ システムズ社が証券取引委員会（SEC）に提出した書類をご参照ください。アドビ システムズ社はこれら将来的観測を更新する義務を負うものではありません。

アドビ システムズ社について

アドビ システムズ社は、世界を動かすデジタル体験を提供します。アドビ システムズ 株式会社はその日本法人です。同社に関する詳細な情報は、Web サイトに掲載されています。

Adobe, the Adobe logo, Acrobat, After Effects, Audition, Contribute, Creative Suite, Dreamweaver, Encore, Fireworks, Flash, Flash Builder, Flash Catalyst, Flex, InDesign, Illustrator, OnLocation, Photoshop, Premiere and SiteCatalyst are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated, in the United States and/or other countries.

© 2011 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.